


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



3月の銅の概況及び4月の見通し (3)

■見通し

【自動車】

2月の自動車生産が-9.1%。3月国内販売台数が前年比+2.4%。生産減は半導体不足によるものと認識。販売は堅調。今後生産減が販売数響くか注視。

【伸銅品生産】

2月の伸銅品生産量は6万3,980トン、前年同月比+5.5%、2か月連続の増加となった。自動車向けを中心に伸銅品需要、特に銅条や黄銅条と棒が伸びている。銅条は2月としては過去最高の2008年の生産量を越えた。

【電線】

前年比-5.5%の52,000t。うち、国内-5.2%。輸出が-17.2%。前月に続き輸出のマイナスにより減少幅が減少。銅輸出は、電気銅は内需(自動車)低迷を受けて減少。スクラップは、内需回復から増加。銅輸入は、電気銅が相場の急騰や内需回復から増加。

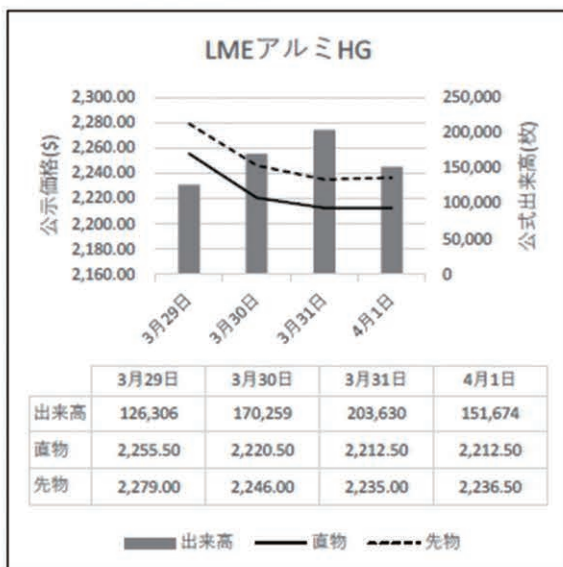
【スクラップ景況予想】

流通在庫は銅建値が100万から104万まで高値安定の中で発生も在庫もほどほど。

<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>
どなたでもご覧になれます。



LME公式値週間推移 3月29日~4月1日(現地)



需要面に関して、半導体不足に伴う自動車需要の減少はあるが高値警戒感からメーカーは買いに慎重である。ただメーカー在庫は気薄。

【LME・為替予想】

今月は、①米経済、景気対策と、②欧米中関係の動向に左右される。①に関しては、バイデン大統領は3月31日、2兆ドル強のインフラ投資計画を発表。政府の権限を活用して米経済を再構築し、中国の影響力拡大に対抗することから米景気は更に上向くのでは。②に関しては、欧州連合(EU)や米国が中国での少数民族ウイグル族の不当な扱いが人権侵害にあたるとして中国政府当局者らへの制裁を決めたこと、香港選挙制度の改正、台湾領空への中国機の侵入など、更に悪化は進みそう。

これらを踏まえた4月の銅価格は、9,000-9,500ドル(セツル)との予想。ドル円値は109円~112円(TTM)台を予測。銅建値に関しては102万-110万円程度と予測している

(「3月の銅の概況及び4月の見通し」おわり)

鉛

鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

